

県庁舎のあるべき姿と
備えるべき機能について
(素案)

県庁舎のあるべき姿と備えるべき機能

あるべき姿

備えるべき機能

シンボル

デザイン等に配慮した「長崎らしさ」を表現する県のシンボルとしての機能

防災・防犯

災害発生時における防災拠点としての機能

防犯・交通安全のために迅速かつ的確に対応できる機能

交流

県民が気軽に利用できる県民交流のための機能

高齢者・身体障害者等に配慮したユニバーサルデザイン

「人」と「もの」の交流拡大のための情報発信機能

まちづくり

庁舎周辺のまちづくりと調和した機能

まち全体を活性化させるためのきっかけづくり

効率性 柔軟性

効率的な事務執行を確保するための執務環境の整備

行政の高度化・多様化に対応するためのインテリジェント機能

道州制など新たな行政ニーズに柔軟に対応できる機能

地球温暖化など環境に配慮した省資源・省エネルギーの機能

本県財政への負担の軽減

〔参考1〕 県庁舎の備えるべき機能 他県の事例

シンボルとしての機能

県産材の活用(木材、焼物等)

列柱、大階段、吹抜け等による重厚な空間

大きな吹抜け、アトリウム等の開放的な空間

彫刻、壁画、焼物等のアート計画

外壁仕上げに花崗岩、内部仕上げに大理石等を使用することによる重厚感の演出

防災・防犯のための機能

災害対策本部室

災害対策室

屋上ヘリポート

無停電電源装置、非常用発電機

非常用発電機と非常時空調熱源用の油の備蓄

一時避難所としてのオープンスペースの確保(広場、ペDESTリアンデッキ等)

緊急車両のアクセス確保

防潮・防水を考慮した地盤面の設定

通信指令室

交通管制センター

交流のための機能

エントランスホール
県政広報コーナー

県民ホール
県民相談センター

展望ホール

レストラン

身体障害者用トイレ
車イス用傍聴席

オストメイト用トイレ

授乳室

まちづくりのための機能

景観との調和、敷地の有効利用等を考慮した建物階数の設定

効率性・柔軟性のための機能

オフィスオートメーションによるフレキシブルな対応
ビルディングオートメーションによる設備等の集中管理
情報通信設備の高度化
県民のための視聴覚設備

自然換気の採用、ブラインド内蔵建具、複層ガラス
都市ガスと電気の複合エネルギーによる熱源方式の採用
深夜電力を利用する水蓄熱槽
太陽熱・雨水利用、太陽電池

〔参考2〕 平成8年 県庁舎建設懇談会提言

県庁舎のあるべき姿

- 1 長崎県の豊かな歴史と風土に調和し、県のシンボルとしてふさわしく、県民に親しまれる庁舎であること。
- 2 高齢化、国際化、情報化が進展していくなかで、新たな行政需要とインテリジェント機能等の変化に対応できる柔軟性を備えた庁舎であること。
- 3 優れた防災機能を備えるとともに、災害時に防災拠点として機能する庁舎であること。
- 4 県民が利用しやすく、業務が効率的におこなえる庁舎であること。
- 5 合理的な耐久性の確保および省資源・省エネルギーに配慮した庁舎であること。
- 6 周辺の都市環境整備に寄与できる庁舎であること。